

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	骨軟部組織感染症の治療に関する多施設共同研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2015年1月1日～2024年12月31日のあいだに新潟大学医歯学総合病院で治療を受け、骨軟部組織感染症（骨髄炎、骨折関連感染症、化膿性関節炎、人工関節感染、開放骨折、壊死性軟部組織感染症など）と診断された患者さんを対象とします
③概要	<p>新潟大学医歯学総合病院整形外科では、骨軟部組織感染症と診断された患者さんを対象として、その臨床像、治療経過の調査を行っています。</p> <p>本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。また、カルテからのデータ収集のみであるため、非利益は特にありません。</p> <p>本研究におけるデータ使用の取り止めはいつでも可能です。取り止めを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もあります。</p>
④申請番号	2025-0297
⑤研究の目的・意義	骨軟部組織感染症の病態と治療法については、未だ最適な治療法が確立されていないのが現状です。診断、治療を受けた患者さんの臨床像、治療経過を調べることで、この病態の治療経過を把握することができれば、今後の治療の発展につなげることができると考えています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年12月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	現在までに診療で得られているデータを利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、診断名、診断日、診断方法、部位、入退院日、手術情報、薬剤、処置、転帰、有害事象、身体的活動状況、血液検査結果、画像検査結果（X線検査、CT検査、MRI検査、RI検査、エコー検査）、細菌培養検査、病理組織検査、感染症の消失有無、消失までの期間、感染の再燃の有無、骨折例では骨癒合の有無、挿入されているimplantの温存の有無、治療期間、入院期間、合併症の有無など。
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。

	<p>新潟大学所属：新潟大学 整形外科</p> <p>兵庫県立加古川医療センター整形外科 高原俊介</p> <p>兵庫県立はりま姫路総合医療センター整形外科 圓尾明弘</p> <p>産業医科大学救急集中治療科四肢外傷再建センター 善家雄吉</p> <p>千葉西総合病院整形外科 姫野大輔</p> <p>兵庫県立西宮病院整形外科 新倉隆宏</p> <p>神戸大学整形外科 大江啓介</p> <p>埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 森井北斗</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター松本匡洋</p> <p>横浜市立大学附属病院整形外科 崔賢民</p> <p>高知医療センター救急科 岩本康平</p> <p>香川県立中央病院救急科 山川泰明</p> <p>神戸市立医療センター中央市民病院 山下伸之輔</p> <p>昭和医科大学整形外科 山口正哉</p> <p>金沢医科大学整形外科 廣村健太郎</p> <p>秋田大学整形外科 野坂光司</p> <p>長崎大学整形外科 田口憲士</p> <p>米盛病院整形外科 上野宜功</p> <p>名古屋市立大学整形外科 米津大貴</p> <p>京都府立医科大学整形外科 堀江直行</p>
--	---

	<p>川崎医科大学整形外科 野田知之</p> <p>九州大学整形外科 糸井健太</p> <p>仙台医療センター整形外科 小暮敦史</p>
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	<p>新潟大学 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座</p> <p>特任助教 依田拓也</p>
⑪お問い合わせ先	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学 整形外科</p> <p>氏名：依田拓也</p> <p>Tel：025-227-2272</p> <p>E-mail：takuyayo@med.niigata-u.ac.jp</p>